

## サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)についてIoT住宅など補助事業公募

本事業は、IoT 技術等の活用による住宅の市場価値及び居住・生産環境の向上等に係る先導的な技術の普及啓発を図るため、予算の範囲内において、住宅等のリーディングプロジェクトの整備費等の一部を支援するものです。

### 1. 主な事業要件

- ①IoT 技術等を活用した住宅等であること
- ②一定の省エネ性能等を満たすものであること
- ③平成 29 年度に事業着手するもの
- ④「IoT 技術等を活用した次世代住宅懇談会とりまとめ」を踏まえたものであること

### 2. 補助対象費用

- ①IoT 技術等を活用した設計に係るシミュレーション費用など②建設工事費(先導的なIoT 技術等の導入に係る費用等)
- ③マネジメントシステムの整備費用④効果の検証等に要する費用等

### 3. 補助率: 補助対象費用の 1/2

補助限度額: (共同住宅) 総事業費の 5% 又は 10 億円のいずれか少ない金額 (戸建住宅) 300 万円/戸

### 4. 応募期間 平成 29 年 6 月 19 日(月) ~ 7 月 28 日(金)、9 月上旬を目処に採択事業を公表する予定です。



出典: 国立情報学研究所

情報提供: 国土交通省

## 世界とつながる窓「Window with Intelligence」実用化に向けたプロトタイプを公開

家電と連携する「窓を通じて会話する」「スマートに換気する」など透明有機 EL を活用した 7 機能を備えた窓 YKK AP ショールーム新宿にて 7 月 1 日から一般展示・体験スタート

「Window with Intelligence」は、「窓が情報を持ったなら。」という想定のもと、家族が過ごしやすいコンディションを認識して快適な室内環境を整えたり、家族や遠く離れた人とつながれるコミュニケーションツールとしても活躍するなど、毎日の暮らしが便利になる窓として、将来の実用化を見据えたプロトタイプです。



透明有機 EL を樹脂製窓フレームに組み込む(特許出願中)ことで、窓の基本性能を保ちながら、天気や室内環境を元に窓を開閉させて換気を自動調整したり、AI スピーカーやインターネットとつながることで窓が住空間の様々な家電をコントロールしたり、遠く離れた人との対話やお絵かき・メモを残す機能など、7つの基本機能を搭載。

昨今のスマートホーム化への新提案として、3 年後の実用化を目指した挑戦です。今後も「未来窓」を通じて、みなさまの生活を豊かにすることを目指していきます。

情報提供: YKK・AP

## ブルーかレッドか

レッドオーシャン市場とは、赤い海、映画「仁義無き戦い」ではないが血で血を洗う競争の激しい市場を現す。

かたやブルーオーシャン市場とは、青い海、競争相手のいない穏やかな市場をいう。今、会社は仁義無き戦いに巻き込まれていると言って過言ではない。例えば一般大衆を標的にした一戸建て住宅やマンション、この市場こそ泥沼のレッドオーシャン市場だ。戸建て住宅やマンションの企画ですぐに頭に浮かぶのが、ファミリーを対象にした安価な物件、50 戸売り出して 10 戸が売れ残り処分に時間をかけていたのでは利益にはつながらない。

苦勞して 50 戸売るより、超高額なプレミアム物件を 10 戸売るほうがはるかに楽だ。最高の立地に最高級の物件、高級車を停めるに相応しいガレージ、そして最高ランクのセキュリティ。

トランプ大統領で有名になったフロリダ・パームビーチほどではなくとも、いつかはあのエリアに住みたいと思う物件。これがブルーオーシャン。

30 万円のウォークマンが売れる時代だ



情報提供: 特別情報誌